

短期間のステロイド使用後に約 3 か月で皮膚状態が整った成人アトピーの経過 (38 歳 成人)

症例 ID：001-30-MT5

記録日：2016 年 7 月 15 日

1. 診断・治療前経過

成人後、腰の汗疹にステロイド外用薬を使用しました。一時的に改善しても別の部位へ湿疹が広がり、顔面も赤く腫れました。外出を避けるほど心理的な負担が強くなり、2010 年 3 月 19 日に治療を開始しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	成人後の汗疹と湿疹にステロイド外用薬を使用しました。
製品名	製品名は不明です。
強度	不明です。
使用期間	比較的短期間です。
中止時期	2010 年 3 月の治療開始時です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
成人後	発症・外用	腰の汗疹にステロイド外用を開始し、その後ほかの部位へ湿疹が広がりました。
2010 年 3 月 19 日	治療開始	顔面の赤みと腫れがある状態で治療を開始しました。
治療 1 週間	症状増強	皮膚のかゆみが強くなりました。
治療約 3 か月	改善	掻きむしることがなくなり、皮膚がしっとりしてきました。
2011 年頃	安定	皮膚が丈夫になり、漢方入浴や煎じ薬を休む時期がありました。
2013 年	再燃	花粉・大気環境の時期に皮膚症状が再燃しました。
2016 年	再燃	仕事の多忙とともに痛みとかゆみが出ましたが、初回より軽い状態でした。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始前に顔面が赤く腫れ、外出を避けるほど皮膚症状と心理的負担が強くなった時期です。

5. 困りごと

- ・顔面の赤みと腫れにより外出が負担となりました。
- ・初期には浸出液、血液、外用薬が寝具や衣類に付着し、洗濯が増えました。
- ・2013 年と 2016 年に再燃し、再び治療が必要となりました。

6. 経過のまとめ

治療開始約 3 か月で掻きむしることがなくなり、皮膚がしっとりした状態となりました。
その後は再燃時にも初回ほど強い症状にはならず、必要に応じて治療を再開しながら生活していました。

症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。